

■ 米国の動物学者 エドワード・モース

エドワード・S・モース博士が1878(明治11)年に函館港に到着してから今年で130年を迎えます。

モース博士は、東京大学で動物学を教えていたほか、大森貝塚の発見や日本に初めてダーウィンの進化論を伝えたことでも知られています。

2007年に開所した「函館市臨海研究所」は、函館におけるモース博士の研究拠点であった「函館船改所」(後の旧函館西警察署)のあった場所に再整備したもので、現在、水産・海洋に関する最先端の研究開発を行っているほか、函館市の新たなまちづくり構想である「函館国際水産・海洋都市構想」推進の拠点となっています。

なお、函館市臨海研究所ではモース博士の記念パネルを一部展示しておりますので、是非ご来場下さい。



写真：函館中央図書館蔵